



佐藤 一 美さん (63)
ヨシ子 さん (63)

＝前沢区字塔ヶ崎＝

雨の日も晴れの日も
●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

国道4号沿い、前沢区塔ヶ崎にお店を構える「吉兆寿し」。昭和55年の開店から、ことしで35年目を迎えました。三陸から仕入れる旬の海鮮はもちろん、おすすめは何といても前沢牛のちらし寿司。炙った前沢牛の上にイクラがたっぷり載った優しい味は絶品です。また、寿司屋としてだけでなく、夜は居酒屋としても長年愛されています。お店を営む佐藤夫妻は、開

店の3年前、昭和52年に結婚。「自分のお店を出すというのは男性のロマンなんでしょうね。それなら私はその手伝いをしよう」と、ヨシ子さんは当時を振り返ります。一美さんは「つまみ類は妻が主力。妻、従業員、開店当初から付いてくれたお客さん——みんなに支えられてここまで来られた」と、周囲に感謝します。夫婦の思い出は？と尋ねると、「ずっと店にいたから……。この店こそが一緒に歩んできた証し」と、二人は愛おしそうに店内を見回しました。「夫に不満を持つこともあるけれど、そんなときは一人の経営者として見るようにします。すると、すごい人だな、頑張っているなと思えるから」とヨシ子さん。「これからも支えてほしい」と見つめる一美さんと、夫婦二人の優しい笑顔はまるで、料理の味をそのまま表しているようでした。



菅野 力輝 くん
(江刺区・江刺愛宕小学校6年)

Interview

夢トーク

53 将来の夢は「プロ野球選手」

——学校での役割は？

児童会長です。議案書を作るのは大変だけど、大きな行事の後でみんなに「大成功だったね」と言われるととてもうれしいです。

——普段、どんなことをして遊んでいますか？

体育館でバスケットボールをしたり、外でサッカーやキックベースをしたり。雪が積もっているときは雪合戦をします。

——いちばんの思い出は？

修学旅行で宮城県に行ったこと。ベニーランドが一番楽しかったです。東北歴史博物館で、こま

やめんこなど昔の遊びを体験したことも印象に残っています。

——将来の夢を教えてください。

プロ野球選手です。僕はスポーツ少年団の愛宕・田原BBCで野球をしています。ポジションはサードで、目標は巨人の村田選手。長打力があって、守備もうまいところに憧れます。

——夢を叶えるために、どんなことを頑張っていますか？

素振りや腹筋など基礎練習を頑張っています。プロの選手になったらたくさん活躍して、いつかメジャーに行きたいな。



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

青春讃歌

田原中学校 バドミントン部

◎部員数 12人
◎顧問 菊池 昌彦 先生
◎主将・部長 梅原 恭裕 君(2年)

小学校からの仲間と 声を掛け合い勝利を目指す

「田原中バドミントン部は、どんな部ですか？」この問いに、主将兼部長の梅原君は「みんなとても仲がよいんです」と即答しました。

田原中学校では、全校生徒がバドミントン部に所属。そして、部員全員が大田代小学校時代からの仲間です。他に部活動の選択肢がないという状況の中でも、「楽しく取り組んでいます」と姿勢は前向き。現在は1・2年生12人で、ダッシュ練習や手首のスナップを使ってシャトルを打つ練習に力を入れています。

幼いころからずっと一緒だからこそ、プレーに関する指摘なども気兼ねなく言い合えるという部員たち。練習中は「ガンバ!」「もっと声出して!応援しよう!」と、元気な声が飛び交います。顧問の菊池先生は「もともと大人しい子どもたちだったが、最近は声

がよく出るようになり、「勝ちたい」という気持ちも見えるようになってきた」と、生徒たちを頼もしそうに見つめました。

昨年の新人戦は、男子が個人で地区ベスト8入り。ことし6月の中総体では、男子が県大会出場、女子は1勝することを目標に掲げています。「声を掛け合い、届かなさそうでも最後まで諦めずにシャトルを追いかけることを心掛けて練習しています」と梅原君。ずっと一緒だったメンバーと挑む最後の大会まで4カ月を残すところとなり、練習にはますます熱が入ります。



諦めずにシャトルを追いかける!



おうしゅうろしんばん



先月開催された成人式は、新成人が企画・運営し素晴らしい内容でした。プロ野球日本ハムの大谷翔平選手、モデルの久慈暁子さんも出席し、明るい話題となりました。新成人の皆さんが、夢の実現に向かって思いきり羽ばたくことを願っています。

水沢南中学校の佐々木陸君が、大相撲伊勢ノ海部屋入門することが決まり、伊勢ノ海親方と一緒に表敬訪問されました。物心ついた頃から相撲に夢中だったという佐々木君。目指すは関取ということで、自分に負けず、相撲を極めてほしいと願います。3月の大阪場所デビュー予定。奥州市民全員が応援団です。がんばれ陸君!市は、1月からふるさと応援寄附をお寄せいただいた方々へ、お礼の品を贈る取り

組みを始めました。現在は前沢牛や江刺金札米など76品の中から選ぶことができませんが、市のPRと地元産業の活性化につながるためにも、今後さらに品数を増やし、充実させていきたいと思っています。

来年度の組織再編について、市は、協働のまちづくり部と医療局を新たに設置する方向で議会に説明いたしました。協働のまちづくり部は、地区センター活動と社会教育、スポーツ、文化活動を連携させ、協働のまちづくりを一層推進させようとするものです。医療局は、市立の病院や診療所の組織を統合することにより、経営健全化を進め、市民サービスにつなげようとするものです。組織再編についても、今後周知を図ってまいります。奥州市民☆文士劇に出演させていただきました。スタッフ総勢160人が一つのものを創り上げる素晴らしさと奥州市民の文化力を実感しました。今月は奥州前沢劇場、奥州胆沢劇場が開催されますので、ぜひ足をお運びください。

奥州市長 小沢昌記